

「誰もが気軽に足を運ぶことができるように・・・」

あたたかくつつみこむ保健室

京都市伏見区にある久我の杜小学校は、神川小学校の児童数が増えたことによって平成4年に開校し、昨年度、創立30周年を迎えました。現在、児童数511人の中規模校です。

元気いっぱいの子どもたちを、2人の養護教諭がやさしくつつみこむように支える、あたたかい保健室を取材しました。

明るく、すっきりとした保健室

全体がピンク色にまとめられていて、明るくあたたかい雰囲気です。

収納棚は充実していますが、高さが低いため、とてもすっきりとした印象です。



収納棚の後ろに置かれたテーブルは他の来室児童からは見えにくく、人目を気にせずゆっくりと過ごすことができるスペースです。



感染症対策

保健室内には扇風機や加湿器、空気清浄機が設置され、感染症対策に活用しています。

内科的な来室の対応には、保健室前の部屋を利用しています。室内にはソファベッドを備え、体温計や毛布など対応に必要なものを用意しています。



きめ細やかな準備

持ち出し用の救急バッグ3種類(各学年用、バス用、養護教諭用)を、すぐに利用できるように準備しています。



嘔吐物処理の初期対応で使用するセットは、各学年の廊下に備えています。

けがをした場所をうまく伝えられない子どもたちのために運動場の各場所の写真を用意しています。特に、低学年児童の対応時に活躍しています。

熱中症の対応セットや嘔吐物処理用消毒液などはすぐに持ち出せるよう、入口近くにわかりやすく用意してあります。



楽しい廊下の掲示物

廊下には、子どもたちが大好きなアニメキャラクターと背くらべすることができる身長計があります。

「すいぞくかんダジャレ」という掲示物は、めくって楽しむことができ、子どもたちにとても人気です。



エコにも配慮

不要になったチラシなどを、手作りの使い捨てごみ箱として活用しています。

手洗い石鹸は、すぐに補充できるよう希釈して用意しています。希釈した石鹸液は、アルコール消毒液の空き容器に入れてあります。

養護教諭のすばらしいアイデアで、環境にもやさしい保健室です。

